

セラピストとしての心構え・行動の目安

令和5年4月1日 総合リハビリ美保野病院 リハビリテーション科

キャリア ステージ (経験年数の目安)	ステージ1(1年～)	ステージ2(おおよそ3年～)	ステージ3(おおよそ5年～)	ステージ4(おおよそ7年～)	ステージ5(おおよそ9年～)
課題	組織の一員としての自覚をもち 専門性を理解する	多職種連携と 専門職としての経験を培う	チームにおいて専門職としての 経験を活かす	臨床実践の質向上と 社会的活動に取り組む	臨床実践能力の習得・発信と 地域連携に努める
能力	指導のもとに臨床実践ができる	(自立して)臨床実践ができる	臨床実践の指導ができる	自己啓発及びチーム内での指導ができる	組織の中での役割を果たすことができる
臨床実践	<input type="checkbox"/> 疾患・障害に対する情報収集ができる。 <input type="checkbox"/> 疾患・障害を理解し、評価ができる。 <input type="checkbox"/> 問題点の抽出, 介入計画の立案・説明ができる。 <input type="checkbox"/> 基準・手順に沿って安全なリハビリが実践できる。 <input type="checkbox"/> 疑問や不確かな知識・技術にを明確にし, 他者に助言を仰ぐことができる。 <input type="checkbox"/> 一時救命処置を含めた急変時の対応ができる。 <input type="checkbox"/> 医療安全・感染予防・防災対策の基本的な実践ができる。 <input type="checkbox"/> 各種書類を適切に作成できる。 <input type="checkbox"/> 尊厳や倫理的配慮をしたうえで対象者への共感的理解と対応ができる。 <input type="checkbox"/> インフォームド・コンセントの必要性を理解し, 実践できる。 <input type="checkbox"/> 多職種とのコミュニケーションを取ることができる。	<input type="checkbox"/> 個別性をふまえた評価ができる。 <input type="checkbox"/> 生活の質向上を目指したリハビリが実践できる。 <input type="checkbox"/> 重篤化回避の状況観察および把握, 合併症予防ができる。 <input type="checkbox"/> 退院支援・社会資源の活用ができる。	<input type="checkbox"/> リハビリの実践と専門性を高める活動ができる。 <input type="checkbox"/> 各部門の指導的役割ができる。 <input type="checkbox"/> 医療安全上の諸問題に対応できる。 <input type="checkbox"/> 退院支援・地域連携構築に向けて主体的な役割ができる。 <input type="checkbox"/> 対象者とその家族との信頼関係を築き, 対応できる。	<input type="checkbox"/> リハビリの質向上に努めることができる。 <input type="checkbox"/> 医療安全・感染予防の指導ができる。 <input type="checkbox"/> 退院支援・地域連携構築に向けた活動の指導ができる。 <input type="checkbox"/> 介護予防・自立支援の観点を理解し, 地域住民の教育・啓発活動に協力できる。	<input type="checkbox"/> 部門間・組織内連携に向けて主体的な役割ができる。 <input type="checkbox"/> 部門間・組織内のコミュニケーションを促す役割ができる。 <input type="checkbox"/> 地域連携推進のため, 継続的に取り組むことができる。
指導 (教育)		<input type="checkbox"/> 新卒新入職員に対して, 基本的な臨床実践の流れを指導できる。 <input type="checkbox"/> 専門職としての知識や経験に基づいた発言・行動ができる。	<input type="checkbox"/> 臨床実践を通じた指導ができる。 <input type="checkbox"/> 臨床実習指導者の役割ができる。 <input type="checkbox"/> 倫理的感性を高め, 他者の模範となることができる。	<input type="checkbox"/> 主臨床実習指導者の役割ができる。	<input type="checkbox"/> 部門の人材育成と他部門の人材育成に協力できる。 <input type="checkbox"/> 教育指導を行う者に対して, 助言・指導ができる。
チーム アプローチ	<input type="checkbox"/> 医療従事者としての自覚を持ち, 報告・連絡・相談ができる。 <input type="checkbox"/> 多職種の役割を理解し, 連携できる。	<input type="checkbox"/> 主体的に多職種と協業・連携ができる。 <input type="checkbox"/> リハビリ科及び各部門の年間目標・計画を理解できる。	<input type="checkbox"/> リハビリ科及び各部門の目標達成に向けて主体的に行動できる。	<input type="checkbox"/> リハビリ科及び各部門, 部署において業務改善のための提案ができる。	<input type="checkbox"/> 各部署において管理・運営の一部を担うことができる。
研究・ 自己啓発	<input type="checkbox"/> 臨床実践の疑問解明や課題の明確化に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 文献を検索・閲読し, その知見を活用できる。 <input type="checkbox"/> 院内や支部の症例検討会で発表ができる。	<input type="checkbox"/> 自己の課題を明確にし, 研究的視点で学会に参加できる。 <input type="checkbox"/> 学会発表等で用いる一般的な研究方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 自発的に院内外の研修会に参加できる。	<input type="checkbox"/> 自己の研究課題に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 学会等において, 研究発表ができる。 <input type="checkbox"/> 学習内容を科内で伝達すると共に活用できる。	<input type="checkbox"/> 自己の能力向上に向けて, 継続的な取り組みができる。	<input type="checkbox"/> 研究活動を計画的に実践できる。 <input type="checkbox"/> 他者の研究について, 適切な助言ができる。 <input type="checkbox"/> 研修会や学会の運営に協力できる。 <input type="checkbox"/> 臨床実践・指導能力の維持向上に向けて, 自己啓発ができる。

ここに示す経験年数はあくまでも目安である。各々の能力や状況等に応じて取り組んでいただきたい。

※チーム: 多職種チーム, 指導チームなど
 ※部門: PT・OT・ST部門

※部署: 自身の所属する部署(病棟等)
 ※組織: 係活動, 委員会, 院内, 法人など